2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社スタメン　　上場取引所　東
コード番号　　4019　　ＵＲＬ　https://stmn.co.jp/
代表者　　（役職名）　代表取締役社長執行役員CEO　　（氏名）大西　泰平
問合せ先責任者　（役職名）　取締役執行役員CAO　　（氏名）中谷　奈緒美　　ＴＥＬ　052（990）2470

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	3,512	28.3	413	169.9	421	162.1	281	173.1
2025年12月期第３四半期	2,738	41.2	153	△6.7	160	△2.7	103	101.6

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　281百万円（173.1%）　2025年12月期第３四半期　103百万円（101.6%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	32.08	31.95
2025年12月期第３四半期	11.77	11.58

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	2,777	1,769	61.7
2025年12月期	2,452	1,536	60.5

（参考）自己資本　　2026年12月期第３四半期　　1,712百万円　　2025年12月期　　1,483百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	6.00	6.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,155	35.0	550	88.9	558	87.0	366	75.8	41.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．７「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	8,781,500株	2025年12月期	8,781,500株
② 期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	136株	2025年12月期	136株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	8,781,364株	2025年12月期３Ｑ	8,765,378株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当社は、「一人でも多くの人に、感動を届け、幸せを広める。」という理念のもと、「人と組織の力」と「テクノロジーの可能性」を活かしたサービスを展開しています。変化の激しい時代においても、自己変革を恐れず、多様な事業領域に挑戦することで、企業としての社会的意義を果たすことを目指しています。社名に込めた「一人ひとりが、スターのように輝くメンバー」の育成を重視し、ビジョン「人と組織で勝つ会社（Win as One）」のもと、３つの行動指針「Get Things Done（やり遂げる）」「Buff the Team（チームにバフを）」「More and Better（より良く、より早く）」を軸に、成果へのこだわりや挑戦、変化適応力、チームの一体感などを大切にしながら、継続的な企業価値向上に取り組んでいます。

主要サービスであるエンゲージメントプラットフォーム「TUNAG（ツナグ）」及びオンラインコミュニティプラットフォーム「FANTS（ファンツ）」を事業軸として事業拡大を進めております。また、意思決定の迅速化のため、100%子会社である「株式会社スタジアム」を2023年１月に設立し、「FANTS」の更なる事業展開を進めております。2023年２月にはクラウドセキュリティサービス「Watchy（ウォッチー）」の提供を開始しました。

当社グループが従業員エンゲージメント事業として提供している「TUNAG（ツナグ）」及びコミュニティエンゲージメント事業として提供している「FANTS（ファンツ）」ともに、成長性の高い市場領域に属していると認識しております。「TUNAG」につきましては、テクノロジーの進化や働き方に対する価値観の変化が急激に進むこの時代に、事業や会社の長期的な成長を左右するのは「人と組織」の強さと捉えて、企業と従業員、そして従業員同士の相互信頼関係であるエンゲージメントの高い会社作りを推進するサービスを展開しております。特に近年では、人的資本経営への関心の高まりに加え、製造・物流・小売・介護等の「ノンデスクワーカー（現場従事者）」を多く抱える産業において、組織課題の解決やDX（デジタルトランスフォーメーション）に対する需要が急速に拡大しております。「FANTS」につきましても、SNSの発達によって個人による情報発信の機会が広がる中で、オンラインサロン市場が拡大しております。サロンの開設者としても著名人からSNS上でフォロワーが多い一般人等に広がり、「タレント」「教育・資格」「スポーツ」など多様なジャンルで活用が進んでおります。

このような結果、当第３四半期連結累計期間の経営成績は売上高3,512,880千円（前年同四半期比28.3%増）、営業利益413,394千円（前年同四半期比169.9%増）、経常利益421,755千円（前年同四半期比162.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益281,714千円（前年同四半期比173.1%増）となりました。

当社グループは、エンゲージメントプラットフォーム事業を主な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載は省略しております。そのため、当第３四半期連結累計期間における実績を事業部門別に記載しております。事業部門別の概況は次のとおりであります。

（従業員エンゲージメント事業「TUNAG（ツナグ）」）

従業員エンゲージメント事業は、Webマーケティングの強化やWeb商談の活用により、潜在的な需要へのアプローチに注力してきました。また、利用企業向けオンラインイベントの開催などによるカスタマーサクセスの強化、展示会への出展や金融機関・多様なパートナー企業との連携を通じた販路拡大・ビジネスマッチングにも取り組んでいます。当期においては、サービス提供価値の拡大を目的とした新規ソリューションの展開を推進いたしました。これまでの支援実績から蓄積したデータと専門家による支援を組み合わせ、離職率低減や生産性向上といった経営指標の改善を支援する組織変革伴走型コンサルティング「TUNAG GRAND」の提供を開始いたしました。また、専門人材不足等の課題を抱える現場産業向けに、タスク自動化の設計からインフラ実装までを代行するBPaaS型AIプラットフォーム「TUNAG AX」を提供開始するなど、顧客企業の組織課題解決に向けた取り組みを進めております。その結果、エンゲージメントプラットフォーム「TUNAG」は堅調に成長を続け、2026年９月末時点での利用企業数は1,517社（前年同四半期比251社増）、平均MRRは201千円（前年同四半期比１千円減）となりました。

（コミュニティエンゲージメント事業「FANTS（ファンツ）」）

コミュニティエンゲージメント事業におきましては、「TUNAG」が保有する組織運営ノウハウを拡張したオンラインコミュニティプラットフォーム「FANTS」の提供を行っております。当期においては、管理者から会員への直接連絡を可能とするメッセージ機能や、デジタルコンテンツ等の単発販売を実現する新機能「FANTSサービス販売」の提供を開始いたしました。また、優良コミュニティの表彰イベントを開催するなど、プラットフォームの付加価値向上とコミュニティの活性化に取り組んでおります。その結果、オンラインコミュニティプラットフォーム「FANTS」の2026年９月末時点での運営コミュニティ件数は725件（前年同四半期比235件増）、平均MRRは63千円（前年同四半期比８千円増）となりました。

（注）平均MRR：対象月末時点における月額利用料の合計を利用企業数、運営コミュニティ件数で除した金額です。一時的な売上高は含みません。なお、MRRについては、従来プラットフォーム関連収益のみとしておりましたが、付帯サービスによる各種収益の規模が拡大してきたため、2025年第２四半期より、過去の数値も含めてこれらの収益を合算した形で公表しています。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ325,575千円増加し、2,777,852千円となりました。これは、主にその他の流動資産が41,140千円減少した一方で、現金及び預金が291,822千円、売掛金が61,851千円、その他の投資その他の資産が24,408千円増加したことによるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ92,935千円増加し、1,008,297千円となりました。これは、主に未払金が40,138千円、長期借入金が25,002千円減少した一方で、短期借入金が100,000千円、未払法人税等が59,636千円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ232,639千円増加し、1,769,554千円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益281,714千円の計上と、剰余金の配当の支払い52,688千円により、利益剰余金が229,026千円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2026年８月14日の「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,105,781	1,397,603
売掛金	305,515	367,366
商品	7,917	22,677
役員に対する１年内回収予定の長期貸付金	－	16,250
その他	153,744	112,603
貸倒引当金	△4,183	△4,141
流動資産合計	1,568,774	1,912,358
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	108,019	95,336
その他（純額）	55,771	55,453
有形固定資産合計	163,790	150,789
無形固定資産	10,585	7,548
投資その他の資産		
役員に対する長期貸付金	550,000	527,500
その他	171,212	195,620
貸倒引当金	△12,085	△15,964
投資その他の資産合計	709,126	707,155
固定資産合計	883,502	865,493
資産合計	2,452,277	2,777,852
負債の部		
流動負債		
短期借入金	－	100,000
１年内返済予定の長期借入金	40,016	35,021
未払金	162,652	122,514
未払費用	164,009	175,602
契約負債	296,669	284,287
未払法人税等	36,584	96,220
その他	135,818	140,384
流動負債合計	835,750	954,031
固定負債		
長期借入金	49,996	24,994
資産除去債務	27,987	27,643
その他	1,628	1,628
固定負債合計	79,611	54,266
負債合計	915,362	1,008,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	82,751	82,886
資本剰余金	1,012,211	1,012,346
利益剰余金	388,511	617,537
自己株式	△120	△120
株主資本合計	1,483,353	1,712,649
新株予約権	53,560	56,905
純資産合計	1,536,914	1,769,554
負債純資産合計	2,452,277	2,777,852

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	2,738,671	3,512,880
売上原価	730,863	917,188
売上総利益	2,007,807	2,595,691
販売費及び一般管理費	1,854,665	2,182,297
営業利益	153,142	413,394
営業外収益		
受取利息	3,960	5,128
ポイント還元収入	4,928	5,088
その他	1,264	1,639
営業外収益合計	10,153	11,856
営業外費用		
支払利息	453	1,065
投資事業組合運用損	1,903	2,044
その他	－	384
営業外費用合計	2,356	3,495
経常利益	160,939	421,755
特別利益		
新株予約権戻入益	809	269
特別利益合計	809	269
税金等調整前四半期純利益	161,748	422,025
法人税等	58,592	140,310
四半期純利益	103,156	281,714
親会社株主に帰属する四半期純利益	103,156	281,714

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	103,156	281,714
四半期包括利益	103,156	281,714
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	103,156	281,714

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

当社グループは、エンゲージメントプラットフォーム事業を主な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

当社グループは、エンゲージメントプラットフォーム事業を主な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	28,175千円	29,752千円